



第15回定時総会開催 小亀会長再任 新副会長に福田昇七氏と岡田一郎氏

第15回定時総会は11月21日(日)東村山駅西口のサンパルネ・コンベンションホールで開催されました。当日午後3時半から三多摩支部大会が開かれることもあり、午前11時から1時間、招待者は無しという従来とは異なった形となりましたが、その分議事内容をしっかりと確認していただけたかと思います。

まず、小亀会長より当面の課題である「会員の減少」に歯止めをかける為、各町1名(13町で13名)の会員獲得を図り、早期に2年前の会員数205名に戻したいとの決意表明がなされました。又、雑学講座等を継続開催し、市民にも開かれた稲門会として市の「第4次総合計画」(将来都市像は「人と人 人とみどりが響きあい 笑顔あふれる 東村山」)にも、積極的に関わっていききたいとも話されました。

会則第10条により、会長が議長となり議事に入りました。21年度活動報告を當摩彰子副会長が、同会計報告を岡田幹事が発表、監査を担当した井原幹事から適正であるとの報告がなされました。

続いて22年度の活動計画と同予算案がそれぞれ発表され、何れも異議なく承認されました。活動報告では、11の同好会が活発に行動していること、又会計報告では、4つのイベントで余剰金が出、会報の発行が無かったこともあり、繰越金が増加したこと等が話されました。

次に役員改選に移り小亀会長の続投、新副会長に福田昇七・岡田一郎両氏、新幹事に池田孝・伊藤友己(復帰)・滝来京子の三氏を含め34名の役員が承認されました。福田氏以下5名が壇上に上がり、それぞれ決意表明がされましたが、伊藤氏からは自分では会の中では「若手」であるが、その若さで会を活性化したいとの心強い発言がありました。新入会員1名は欠席の為紹介は無し。全ての議案が承認され、予定の1時間を20分近く残し、當摩彰子副会長の挨拶で閉会となりました。

三多摩支部大会ならびに校友会設立125周年記念講演開催

11月21日母校法学部の教室で三多摩支部大会が開催された。本年は東村山・東久留米・清瀬各稲門会が幹事を務めており、当会から40名の会員が参加した。会は風間事務局長の司会で始まり、小亀支部長の挨拶のあと平山副支部長(東久留米稲門会会長)から活動報告が行われた。町田稲門会から早稲田で学んでいる留学生を支援するため10人の学生に1泊のホームステイを行った事例の紹介があり、国際交流の新しい試みとして注目された。

続いて校友会設立125周年記念講演として奥島孝康元総長から「早稲田と私」という演題で講演が行われた。鎌田新総長もお見えになり講演を聴かれた。奥島氏は早稲田大学改革の経緯や鎌田新総長への期待を話された。また早稲田人の原点として「志高低頭」(志は高く頭は低く)の精神の大切を話されたのが心に残った。

その後ガーデンハウスで懇親会が行われ、約240名の参加者で会場は大盛況であった。鎌田新総長は挨拶の中で、基本的には前総長の路線を引き継いでいくが、早稲田のポテンシャルをさらに引き出していきたいと抱負を述べられた。新総長との記念撮影の希望者が殺到し総長は食事に手を付ける暇もなく丁寧に応じられていた。早稲田大学交響楽団の演奏もあり、最後は応援部のパフォーマンスのあと、「早稲田の栄光」と「校歌」の大合唱でお開きとなった。

懇親会終了後、大学近くの寿司店で二次会が行われ、総長・谷口理事・野崎校友会常任幹事も参加され、30名ほどの参加者で大いに盛り上がった。鎌田総長の誠実なお人柄にふれ早稲田の未来に大きな希望を感じた一日であった。



新年会

会員の皆様、お待ちしております

新春を祝い、すばらしい年のスタートにしましょう！
同伴者も是非、ご参加ください。

先月号のニュースでご案内しました新年会、下記の通り詳細が決まりました。会場は、昨年と同じ東村山駅西口直結の再開発ビル内「サンパルネ」のコンベンションホール。当日は當摩彰子副会長と学生時代のバンド仲間の皆さんが演奏をしてくれます。どうぞお楽しみに！

出欠の回答は同封の葉書にて12月末迄にお願いします。

記

日時 : 平成23年1月22日(土) 午後5時より
場所 : サンパルネ コンベンションホール
(東村山駅西口 再開発ビル2階)
会費 : 5,000円 (同伴者は3,000円)

会からのお知らせ

○ 平成23年1月 定例役員会

日時 : 平成23年1月8日(土) 13:00～15:30
場所 : ふるさと歴史館

17時より「丸藤」で1月、2月生まれの方の誕生会を行います。該当者の方はもとより、一緒に楽しく祝って下さる皆さんのご参加をお待ちしています。(別項参照)

○ 平成23年1月度・2月度合同お誕生会 (担当幹事 南湖 390-2287)

日時 : 1月8日(土) 17:00～19:00
場所 : 割烹「丸藤」 久米川駅南口から徒歩1分
電話 042-395-5646
会費 : 3,000円

該当の方々にはぜひご参加ください。お待ちしております。(特に2月誕生月の方はこの1月8日実施の1月度・2月度合同お誕生会が該当しますのでお間違えのないようご注意ください。)

なお、誕生月ではないが誕生月の方と一緒に祝いして下さる方のご参加も歓迎いたします。ご希望の方は担当幹事までご連絡ください。また、誕生月該当者で、下記されていない方は担当幹事までご連絡ください。

☆ 1月度お誕生の方々 (敬称略19名)

飯塚輝夫、伊藤友己、大曾根文男、大西幸夫、小野 智、菊田 哲、木谷 肇、
小林俊治、佐久間厚、迫田 実、佐野祐史、澤村信義、高橋鶴次郎、滝澤利久、
成田豊太、堀田秀夫、三井正司、倉田哲也、ド・チハウ

☆ 2月度お誕生の方々 (敬称略18名)

岡田一郎、尾島敏雄、崎山裕子、木村草彦、佐藤清彦、塩見之一、高橋正夫、田島隆夫、
内藤 慎、長井 治、長尾勝美、原田道昭、樋地正秀、福田 晃、細山和男、宮 輝雄、
八木正晴、宮元祥史

○ 校友会関連会合

12月17日(金) 18時 東京23区支部・東京三多摩支部合同会長会
大隈記念タワー「西北の風」 小亀会長・當摩副会長出席

○ 第71回雑学講座

日時 : 平成23年2月5日(土) 15:00～16:30
 場所 : サンプルネ コンベンションホール(東村山駅西口駅ビル2F)
 講師 : 清水 元氏(国分寺稲門会幹事長 日本紅茶協会専務理事)
 演題 : 「ティーパーティーを楽しもう 世界の三大銘茶飲みくらべ」

平成21年8月8日、第64回の雑学講座で「紅茶の話あれこれ」と題し、清水氏とシニアインストラクターの田中さんに講演いただき、たいへん好評でした。
 今回はサンプルネの広い会場を使い、ティーパーティー形式による銘茶の飲みくらべを企画しました。ご期待ください。



☆大学関連ニュース (学生の活躍光る)

六大学野球 優勝決定戦で慶応を破り4季ぶり42度目の優勝

秋季東京六大学リーグ戦は勝ち点、勝率ともに並んだ早慶による優勝決定戦となり、早稲田が10-5で慶応を破り42度目の優勝を決めた。早慶両校による優勝決定戦は50年ぶりで神宮球場は3万6千人の大観衆で埋まった。優勝に沸く一塁側ベンチから、早大100代目主将斎藤は、満面の笑みで歓喜の輪へ駆け寄った。「仲間と応援してくれる人たち。慶応というライバルがいて、ここまで成長できた」とすがすがしい表情で喜びをかみしめた。

プロ野球ドラフト会議で早稲田大学3投手が1位指名

今年のプロ野球ドラフト会議で早大の斎藤、大石、福井の3投手が1位指名された。6球団が競合した大石投手は、西武が、4球団が競合した斎藤は日本ハムが交渉権を獲得。福井は広島が1位指名した。3人とも入団には前向きなようで、プロでの活躍が大いに期待されます。

斎藤祐樹有終の美を飾る 早稲田大学初の大学日本一

11月18日第41回明治神宮野球大会大学の部決勝が行われ、早稲田が2-1で東海大学を破り初の大学日本一となった。福井・大石とドラフト1位投手の後を斎藤祐樹投手が9回に登板し3人を押さえて胴上げ投手に輝くとともにアマ野球最後の試合を締めくくった。これで卒業式の日には野球部の小野梓スポーツ賞の受賞が確実となった。やっぱり何かもってますね この男

駅伝 出雲大学駅伝・全日本大学駅伝ともに優勝

10月11日に行われた出雲全日本大学選抜駅伝で、早稲田大学競走部が14年ぶり2度目の優勝を果たしました。また11月7日に名古屋・熱田神宮一三重伊勢神宮間で行われた全日本大学駅伝対抗選手権にも15大会ぶりで優勝し、正月の箱根を制し、初の三冠を狙うことになった。お正月 美味しい酒が飲めますかな？がんばれ！！競走部

将棋「王位」獲得の快挙 教育学部広瀬君

将棋の7大タイトルの一つ、第51期王位戦(七番勝負)の第6局が9月1・2日神奈川県秦野市で行われ、挑戦者の広瀬章人六段が深浦康市王位を破り、タイトルを奪取しました。広瀬さんは教育学部数学科に在学中で、現役学生が7大タイトルを獲得するのは初の快挙です。広瀬さんは今回の勝利により七段に昇段しました。

ラグビー部も頑張っています

昨年の大学王者帝京大学を33-14で破り全勝をキープ。早慶戦には惜敗しましたが、明治との決戦(12月5日)に勝利し、美酒を味わいたいものです。

本会会員 迫田実(さこた・みのる)さん早稲田大学理事に就任

本会会員迫田実さん(栄町在住・S52社会)はこの度の白井総長退任に伴う人事異動で人事部長から理事にご就任になりました。本会にとっても大変嬉しいことで、早稲田大学の発展のためますますのご活躍を期待いたします。

2011年稲門祭運営委員に 大内一男さん

来年度の稲門祭運営委員に三多摩支部から3人の推薦依頼が校友会からあり当会の大内さんに今年に引き続いて就任して頂くことになりました。大内さんは今年漆塗りのオルゴールを提案し大変好評でした。皆様のご支援をお願い致します。



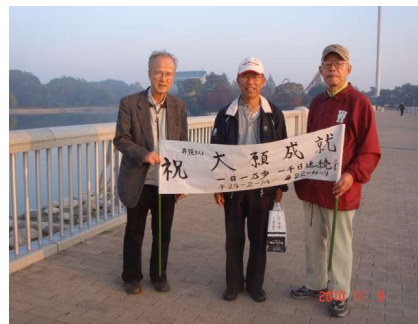
井垣さん 千日連続ウォーキング満願

内藤 慎 (S28商)

寒い冬が近づいて参りました、みなさま元気に冬を乗り切りましょう。

8月のニュースで井垣さんが人生をもっともっと楽しみたい その為には食生活と運動に改善を始められ、良好な状態を確保することに成功した経緯が記述されていました。その1つの1日1万歩・千日連続行の最初の目標の満願を11月9日にむかえ仲間としお祝いを兼ね当日井垣さんのコースを高部、内藤の二人で同行しました。快晴の多摩湖を望み薄紅葉を楽しみました。同氏の固い決意と実行力に敬意を表します。

みなさまも是からの人生 大らかに明るく楽しんで長生きをいたしましょう。



左から：高部さん、井垣さん、内藤さん

○ ポストパーソンの交代

久米川町 (新) 町田 和夫

(旧) 當間 昭治

久米川町のポストパーソンは、制度スタート以来當間が担当してきましたが、12月から全14会員宅について町田和夫さんをお願いすることとなりました。若さと行動力で、稲門会に新風を吹き込んでもらいましょう。

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

音楽同好会 (稲穂会)

世話人

井手 巖

TEL

391-6443

高橋文子

393-2676



10月31日(日)に恩多ふれあいセンターにて例会を開きました。午前中に開催されたためか、参加者は8名でしたが、元気にまた楽しく談笑しつつ、以下の曲を歌いました。参加者(敬称略)：井手、江藤、小林傳、重原、富塚、三宅夫人、高橋夫妻

◎歌った曲：稲門会の歌、紅葉、里の秋、宵待草、ゴンドラの唄、四季の歌、旅人よ、遙かな友に、旅の夜風、丘を越えて

なお、次回の例会は、年明けのニュースにてお知らせする予定です。また、井手さんに、世話人のひとりとしてご協力していただけることになりました。紙面をお借りしましてご報告いたします。

俳句同好会 (稲酔会)

世話人

井垣 和太

04-2924-2934



第53回「稲酔」俳句会の日程は下記の通りです。

記

開催日時：12月25日(土) 午後1時から

開 場：恩多ふれあいセンター 多目的室

兼 題：手袋(手套、革手袋、手覆)

出 句：兼題句及び当季雑詠計五句

投句参加も歓迎いたします。前日までに世話人宛。

句会終了後「丸藤」で忘年懇親会を開催いたします。

《兼題「手袋」》(手套、革手袋、手覆、軍手、)

これからの季節の必需品です。手の冷えを防ぐという機能に尽きますが、材料、色、形など、バラエティーの富んだものであり、生活密着感の強い句材です。あなたの身近で手袋はどんな状態で存在しているのか、新しい発見を詩的に表現して下さい。

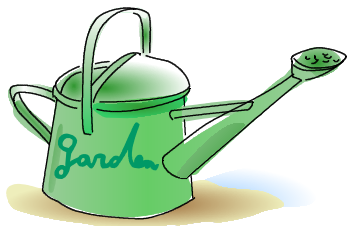
手袋の左許りになりける
手袋をはめ終りたる指動く
手袋をぬぐ手ながむる逢瀬かな

子規
虚子
草城

(稲雀 記)

園芸の会

世話人 當 摩 照 夫・彰 子 TEL 396-3033

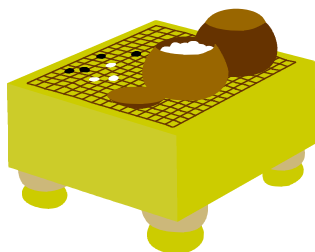


去る11月9日(火)に恒例の秋蒔き草花の苗の交換会を行いました。出席はすこし少なかったものの総勢9人。今年は種の蒔き時の9月が猛烈に暑くて、管理に汗だく。せっかく発芽してもナメクジにひとめされて大被害。ほんとに苦労さんでしたが、それでもパンジー、ビオラ、デイズ、カーネーション、花菱草、ネモフィラ、ストックなど、それに白菜、ブロッコリー、二十日大根という野菜群も加わって賑やかな交換会となりました。さあ皆さん、がんばって咲かせましょう。

次回はさくらそうの芽とさぎ草の球根の交換会を、来年1月の最終週に行います。会場の予約が取れ次第、日程をお知らせします。皆さんふるってご参加ください。

囲碁同好会

世話人 福 田 晃 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336



●12月の「例会」は、下記の要領で開催します。囲碁のルールを少しでもご存じの方は、どなたでも参加できます。お待ちしております。

日 時 平成22年12月18日(土)、午後2時開始

場 所 市民センター別館、第6会議室

○「例会」は、隔月に実施しています。この会の特長は、勝ち負けよりも、楽しく対戦することを主眼としています。そのため、初心者と高段者の対戦も頻繁に行われています。脳の活性化に抜群の効果があるともいわれる「囲碁の例会」へ、どうぞご参加ください。

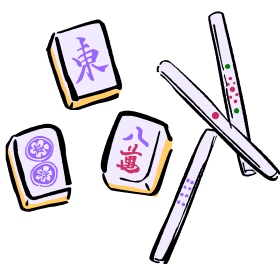
麻雀同好会

世話人 小 野 智 TEL 391-9523
松 永 常 尚 332-5621

第52回大会を下記要領にて開催します。

今回は、12月忘年会シーズンと重なる為、会場の確保が出来なくて、下記の場所にて行います。

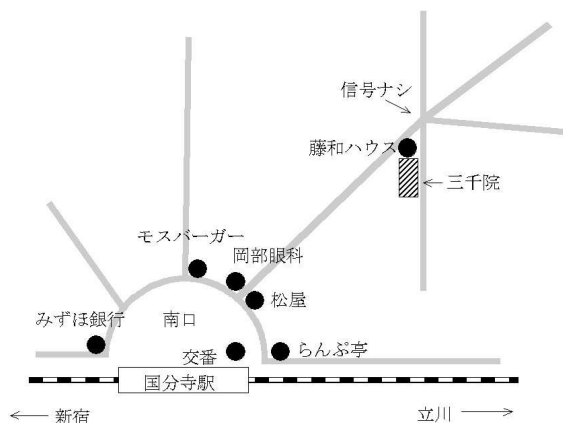
尚、麻雀後の懇親会は忘年会を兼ねて丸藤にて行います。東村山ではなくて国分寺までご足労をおかけしますが、特に忘年麻雀会故、是非とも多数皆様のご参加をお待ちします。



記
日時 12月19日(日)
集合 12時10分
開始 12時30分
場所 三千院 TEL 042-326-5151
国分寺市南町3-18-8
第一中央ビル3F
会費 7,000円
締め切り 12月12日(日)

[注]

1. 昼食は麻雀店のサービスにて提供
2. 場所は概略地図参照
3. 西武国分寺線 東村山駅発 → 国分寺駅
11:44 11:55
11:54 12:05
12:04 12:15
4. 三千院は国分寺駅南口 徒歩約3分



カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



11月例会は11月6日開催。秋本番の暖かい気候に恵まれ賑やかな一夜と為り楽しく過しました。

来月の忘年大会に何を歌い優勝を狙うか各自の苦心する所、各自4曲歌い上げ微笑む人、悩む人、色々で後1ヶ月どのように、調整するか期待するところ大です。

今後の予定

12月4日(土) 19:30 カラオケランド ズー

当日映画会開催の為時間の遅れがあるかも

23年1月8日(土) 19:10 カラオケランド ズー

どうぞ良い御年をお迎え明るい新年に元気にお会いしましょう。

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934



第2回早稲田大学校友会ゴルフ大会参加報告

11月10日(水)小春日和に恵まれた中、飯能市の久邇カントリークラブに於いて第2回早稲田大学校友会ゴルフ大会が開催されました。当会からは、益田昂三さん、相馬信一さん、石川武さん、井垣和太の4人の1チームが参加し、新ペリア方式での団体戦、個人戦に挑戦しました。

校友の交流も大きな目的であり、他の稲門会のメンバーとの組み合わせになり、思わぬ出会いがあったりして有意義なゴルフ会でした。

38チームで競った団体戦で当会は健闘空しく29位に終わりましたが、個人賞では飛び賞や前総長記念賞などをそれぞれが獲得。まずまずの成果を収めました。

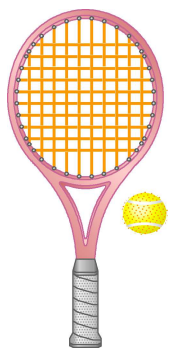
プレー後のパーティーも賑やかに始まり、招待チームの高麗大学日本校友会の代表の挨拶と韓国語での乾杯音頭「ワ・セダ」の大合唱や、個人戦準優勝の瀬古利彦さんの、箱根駅伝の力強い優勝見通し、競走部渡辺監督にまつわる抱腹絶倒エピソードも含めたトークなどに会場が大いに盛り上がりしました。

最後に応援指導部OBのリードで「都の西北」を心ゆくまで歌い上げ、来年の再会を約して散会となりました。次回は複数チームで参加したいものです。

(井垣 記)

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



11月の例会は、11月6日(土)、運動公園Cコートで行われました。穏やかな晴天で、このところ天候に恵まれています。

参加者は、石塚、市川(彰)夫人、江藤夫妻、滝来(京)、當間の各氏と田島の7名でした。石塚さんと江藤さんが久しぶりに参加されました。地元名産の饅頭やハワイ土産のチョコレートなどを味わいながら賑やかにテニスを楽しみました。

また、11月20の予備日にも有志でプレーすることになりました。

今後の予定

12月18日(土) 9時~11時 久米川コート 3

(予備日 12月20日(月) 9時~11時 久米川コート 5)

23年1月9日(日) 9時~11時 運動公園 A

(予備日 1月10日(月) 9時~11時 久米川コート 3)

11・12月度合同「お誕生会」報告

HAPPY
BIRTHDAY

担当幹事：南湖修一 390-2287

11月6日（土）午後5時すぎから久米川の割烹「丸藤」で、11月・12月度合同お誕生会が開催された。誕生月該当者24名中6名の方々や役員などで総勢22名の参加となった。小亀会長が立川稲門会総会へ出向き不参加のため、変わって當間副会長からお祝いの挨拶があり、続いて風間副会長の挨拶と乾杯の音頭で会は始まった。しばらく歓談後、當間副会長からバースデープレゼントが手渡され、誕生日を迎えられる6名の方々から順次スピーチを頂いた。

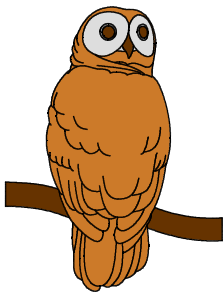
早稲田優勝に拍手の石塚征雄さんは六大学野球で慶応側で早稲田を応援した当時のエピソードを語られ、郷土史研究会でご活躍の江藤昌明さんは東村山周辺の言葉について話された。斉藤充美さんは力強くこれからの決意表明をされ、当会副会長としてご活躍の當摩彰子さんは先の旅行会で訪れた会津に関連し「会津漆の芸術祭」を紹介された。带状疱疹を押してご参加いただいた井手 巖さんは今年もハーモニカの名演奏をご披露、演奏に合わせ全員で♪知床旅情♪から♪誰か故郷を想わざる♪まで合唱した。所用のため遅れてご参加の一色泰久さんからは最近陶芸や革工芸などにも楽しみを見出しているとの近況を報告いただいた。

本日も當摩彰子さんから銘酒「会津中将」の差入れもあり、会は賑やかに進行した。いつもの赤荻さんに代わって福田昇七さんの写真撮影のあと、井手さんからご教示を受けたという福田さんのハーモニカの伴奏に合わせ、井垣さんの音頭により全員で「東村山稲門会の歌」、「早稲田大学校歌」を斉唱し、當間副会長のメの挨拶のあと会はお開きとなった。

多摩湖ふくろう通信 No 107

2010. 11. 2

戸田 志郎



TPP への参加について前原外相が、「日本の国内総生産（GDP）における第一次産業の割合は1.5%だ。1.5%を守るために98.5%のかかなりの部分が犠牲になっているのではないかと発言し、偏向するマスコミも、“乗り遅れるな”“乗り遅れたら大変だ”と世論誘導をしている。

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）は、例外品目なしに100%の貿易自由化を目指し、モノやサービスのほか政府調達や知的財産権など広範な分野を対象とした経済連携協定（EPA）である。シンガポールとニュージーランドの自由貿易協定（FTA）が土台となり、チリとブルネイを加えた4カ国の協定として、2006年5月に発効した。現在、米国、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシアの5カ国の参加をめざし、原加盟4カ国を含めた9カ国が交渉中である。

TPP 参加の影響について、農林水産省が、TPP によって関税が撤廃された場合、農産物生産額が年間4兆1000億円減少し、供給熱量でみた食料自給率は現在の40%から14%へと急低下する。農業の多面的機能が失われることによる損失額は3兆7000億円にのぼる。さらに農業関連産業も含めたGDPが年間7兆9000億円減少する。そのために、340万人の雇用が失われると試算している。

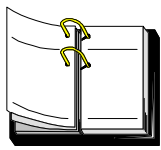
農業生産の減少は、食品加工など中小企業を含む地域産業に打撃を与える。農業所得の減少は、地域の小売業やサービス業の低迷に直結する。地方小都市の衰退は、後背地の農村の疲弊が一因になっている。

本来、主権国家は、輸出国と輸入国を問わず、自らの領土内の人々の食料を確保する主権を有している。そのもとでは、国際的な不測の事態に際しては、輸入国は領土内の人々を飢えさせないため輸出制限する権利を有する。そうならば輸入国は当然に食料主権を行使しえず国民は窮地に陥る。それを避けようとするれば、常日頃から自給率を高めておくしかない。自給率を高めるための一定の国境保護や国内助成を食料主権として行使することは当然に認められる。

規制改革・民間開放推進会議や経済財政諮問会議などのメンバーであった本間正義氏に代表される「食料自給率の低下を食料の安全保障と結びつけて不安に思っている国民も多い。しかし、食料の安全保障については、むしろ今後海外依存を確保することが近道というか、それしかないという認識である」といった意見がある。

しかし、あのブッシュ元アメリカ大統領でさえ「食料自給は国家安全保障の問題であり」「食料自給できない国を想像できるか、それは国際的圧力と危険にさらされている国だ」と述べているそうだが、食料安全保障＝海外依存説は全くリアリティを欠く。その意味で自給率と切り離した食料安全保障論は「亡国の食料安全保障論」であるといわざるを得ない。

TPP 参加問題は、農業の問題という以上に国民生活の根幹に関わる問題である。農業の再生を含めて、もっと慎重かつ冷静な議論が必要である。



今月の行事（12月）

3日（金） ゴルフ同好会
 4日（土） 12月度役員会
 雑学講座
 カラオケ同好会
 18日（土） テニス同好会
 囲碁同好会
 19日（日） 麻雀同好会
 25日（土） 俳句同好会

1月の予定

8日（土） 1月度役員会
 1・2月度合同お誕生会
 カラオケ同好会
 9日（日） テニス同好会
 22日（土） 新年会



編集局だより

○伊藤友己さんの後を継いでニュースの編集を担当してから丸4年が経ちました。パソコンで編集しているのですが、基本的なデータもそのまま引き継いだので、担当が変わっても出来上がったニュースはそんなに変化がなかったのではないかと思います。ところが先月号でもお知らせしたように、今回からそのニュース紙面が変わり、一部カラー印刷が白黒になりました。今までは印刷を當摩照夫さんをお願いしていたのですが、今後は外注することになり、その為の変更です。皆様の受ける印象も大分変わるかも知れません。これからは新しい紙面のもと、編集にも今までとは少し違う取り組みが必要ではないかと考えております。

○次号の原稿締め切りは12月18日（土）です。よろしく願いいたします。（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

さて何を小春日和の自由かな 井垣 稻雀
 年暮るる財布の中の守り札 出田 麦穂
 吹き溜る銭湯跡の落ち葉かな 幸田 瑞雄
 木枯しや老々介護の増える国 世を憂い天を仰げば鯛雲
 冷まじや明けの明星凜然と 菊田 一平
 しゃらしやらの熊手見せ合ひ屋台酒 つば焼きのつばが湯気立て冬に入る 小永井 哲哉
 小春日を充たし交番ガラス張り 穂すすきを夕焼け載せて持ち去りぬ 高部 糸行
 秋高し越して来し子ら遊ぶ声 落葉簞身の文程も詰め込んで 戸田 梟
 濡れ落葉輪廻転生想い踏む 楚々として紺碧の空に木守柿 内藤 慎
 せせらぎに入日の眩し鴨親子 紅葉は一日毎の様変り 丸本 北窓
 特急の過ぎたるあとの時雨かな 冬ざれや折りたたまれし車椅子 八木 竜湖
 わが町を底に紅葉のるつばかな いちまいの落ちて一枚柿落葉 栗島 三郎
 古城跡の万葉の歌秋深し 手をあげて渡る園児や小六月